

放課後子供教室の取組事例

都内の放課後子供教室の中には、平日の放課後だけでなく、時間に余裕が持てる土曜日を活用して子供たちが体系的・継続的に学ぶ機会を設け、企業で働く人や幼い子供をもつ保護者など、平日には放課後子供教室の活動に関われない人々を含めて活動プログラムに取り組んでいる教室があります。今回は、土曜日の放課後子供教室の取組を紹介します。

事例 1 品川区「すまいるスクール品川学園」英語教室

(1)「すまいるスクール品川学園」について

ア 概要

品川学園は、品川小学校と城南中学校を母体とした小中一貫校です。

年間開催日は、293日(平日201日、土曜49日、長期休業43日)、開催時間は、平日は、放課後から午後6時まで、土曜日は、午前9時から午後6時までとなっています。

「すまいるスクール品川学園」は、全校児童数(1年生~6年生)663人のうち365名が登録(平成26年5月末現在)しており、参加人数の平均は平日122人、土曜日40人です。

イ 主な活動プログラム「教室」

すまいるスクールでは、地域のボランティアが講師を務める活動と「すまいるスクール」スタッフが講師となって行う活動があります。

地域のボランティアが講師を務める活動には、「囲碁教室」、「書道教室」、「リコーダー教室」、「英語教室」、「フラメンコ教室」、「こどもテニス教室」、「おはなし会」などがあります。

すまいるスクールスタッフが講師となって行う活動には、「バトン教室」、「ヒップホップ教室」などがあります。

〈6月の予定表〉

月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7 ★
	1年勉強会 3時① 3時45分② 4時 5-6年勉強会	4時 4年勉強会	3時30分 パネルシアター	3時 2年勉強会 4時 3年勉強会	9時30分 英語教室 2時 おはなし会
9	10	11	12	13	14
	1年勉強会 3時① 3時45分② 3時 みんなで作ろう	2時 書道教室(2年) 4時 4年勉強会	3時 みんなで作ろう	3時 2年勉強会 4時 3年勉強会	ヒップホップ教室 2時/1年 3時/2年以上
16	17	18	19	20	21
	1年勉強会 3時① 3時45分② 4時 5-6年勉強会	3時 書道教室 (3年以上) 4時 4年勉強会	囲碁教室 3時 1年・初心者 4時 2年以上	3時 2年勉強会 4時 3年勉強会	2時15分 リコーダー教室
23	24	25	26	27	28 ★
	1年勉強会 3時① 3時45分② 3時30分 バトン教室(2年以上)	4時 5-6年勉強会	4時 4年勉強会	3時 バトン教室(1年) 4時 2年勉強会 3時 3年勉強会	1時30分 なんちゃし教室 3時45分~5時 こどもテニス教室

(2)「英語教室」

「英語教室」は、平成17年度から地域ボランティアの須藤マルキット先生の指導で、月1回土曜日に年11回行われています。午前9時30分からは1年生を対象に、午前10時30分からは、2年生以上を対象に開催されています。

ア 活動内容

(ア)発音練習

1年生の活動は、「Good morning」のあいさつから始まり、「ABC」の歌や軽い運動の後、発音練習をしました。

講師の須藤マルキット先生は、「B」と「P」、「M」と「N」の発音がちゃんと別々に発音できているか子供たちの口を見て確認しています。また、「文字だけでなく英語の発音も覚えましょう」と呼びかけています。



(イ)文字「GHI」の練習

この日は、プリントを使って書き順を覚えました。また、プリントにある絵から「G」のつくものを当てるクイズをしました。



(ウ)好きな食べ物を英語で発表

好きな料理や果物を「I like ~」を使って発表しました。

(エ)「さようなら」の歌

2年生以上の活動内容では、講師の須藤マルキット先生は、5つの母音(A、E、I、O、U)と21の子音を組み合わせでちゃんと発音できるように繰り返し教えています。「自分の名前を英語で書いてみて、自分の名前の中にどの母音と子音が組み合っていますか?自分の名前がちゃんと発音できないと、英語は相手に伝わりません」といつも子供たちに話しています。



イ 年間の活動

「英語教室」では、毎月、アルファベットを3文字ずつ順番に教えています。

夏休み前、ハロウィン、クリスマスには、クラフトやイベントも取り入れて子供たちは楽しみながら英語を学んでいます。

4月	「ABC」とクラフト
5月	「DEF」
6月	「GHI」
7月	「JKL」とクラフト
9月	「MNO」
10月	「PQR」とハロウィンイベント
11月	「STU」
12月	「VWX」とクリスマスイベント
1月	「YZ」
2月	復習と発表会準備
3月	発表会(歌を披露)

ウ 須藤マルキット先生のお話

「品川区に住んで23年になります。『すまいるスクール』に関わるようになったきっかけは、フィリピンで幼稚園の子供に英語を教えていた経験があったので、品川

区役所に英語のボランティアができることを申し出たことです。さっそく『すまいるスクール』のスタッフから声が掛かり、『英語教室』を行うことになりました。

9年間、『英語教室』の講師をしています。日本人の話している声はよく聞き取れません。英語は口を大きく開けて話さないと相手に伝わりません。相手に分かるようにするには、大きく声を出していく練習が必要です。

1年生は発音が分からないので、2年生以上とは分けて教えています。日本の子供たちは、幼い頃からいろいろな英語の音は聞いていますが、正しい英語の発音を聞いていません。だから、文字だけでなく発音を基本から覚えることが大切です。発音で文字には母音と子音があることが分かり、発音から文字が分かり、更に文字と文字がつながって人に伝えていくことができる事が分かります。

各月、アルファベットを3文字ずつ取り上げて教えていますが、何年か繰り返していかないと覚えられません。

夏休み前、ハロウィン、クリスマスには、イベントを行い、遊びながら英語を学べるように工夫しています。夏休み前は、空き箱、英語が入っているチラシ、好きな写真を持ってきて、『フレームづくり』を行います。』



エ 土曜日の活動となった経過

開設された平成17年度当時のスタッフによれば、「当時、大井町に住んでいた須藤マルキット先生から『子供たちに継続的に英語を教えたい』という要望がありました。また、先生は、幼いお子さんがいて、土曜日なら家族や友人にあずけられるという事情があったことと、スタッフも『すまいるスクール』開設当初は、平日の活動だけでなく、土曜日の活動も充実させたいと考えていたことが、うまくマッチして土曜日に『英語教室』を開催することになりました。」とのことでした。

以後、「すまいるスクール品川学園」では、土曜日に「英語教室」が継続して開催されています。